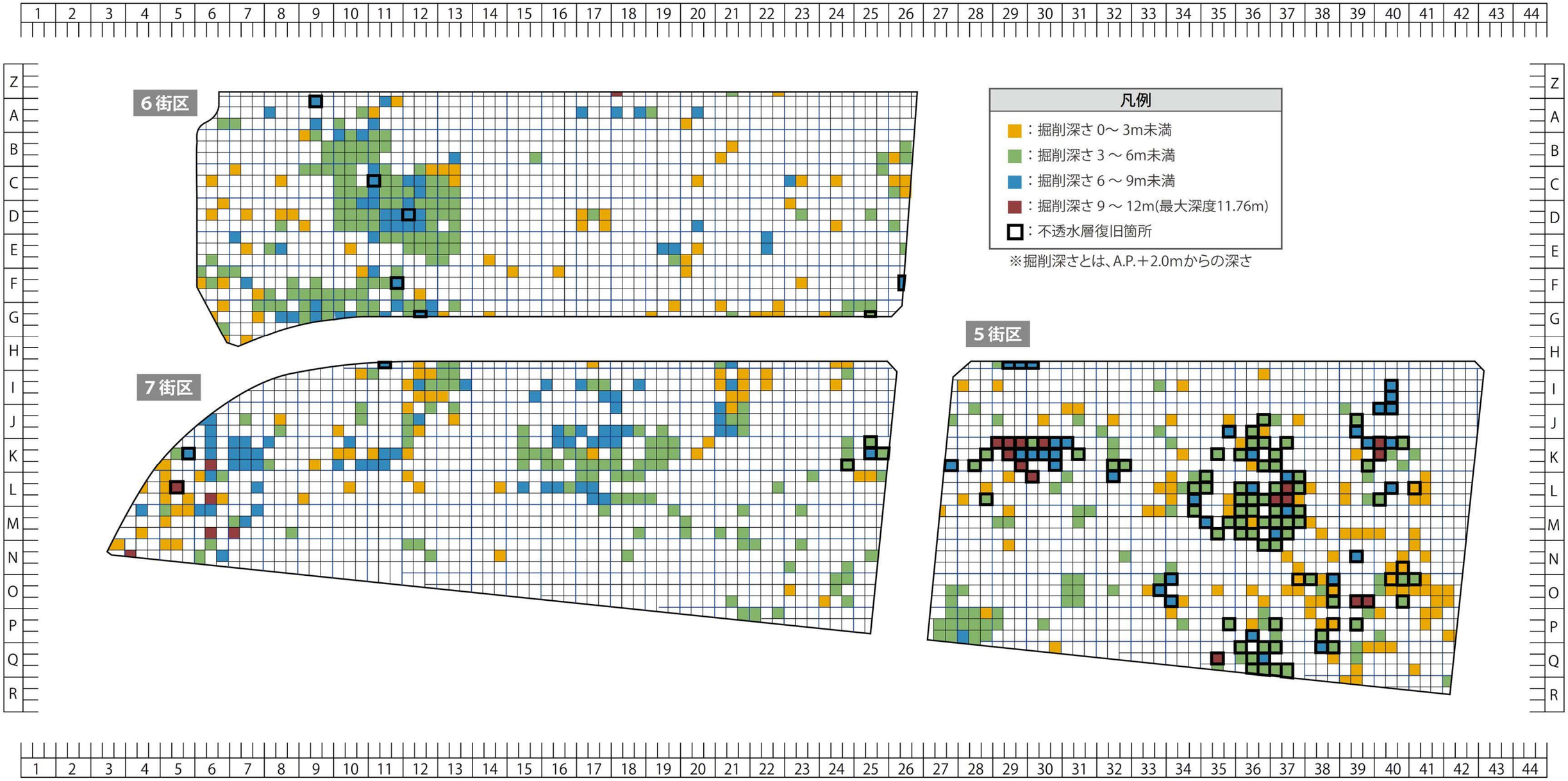
資料６
［前回専門家会議の懸案事項］

資料６－１
汚染土壌の対策深度の状況

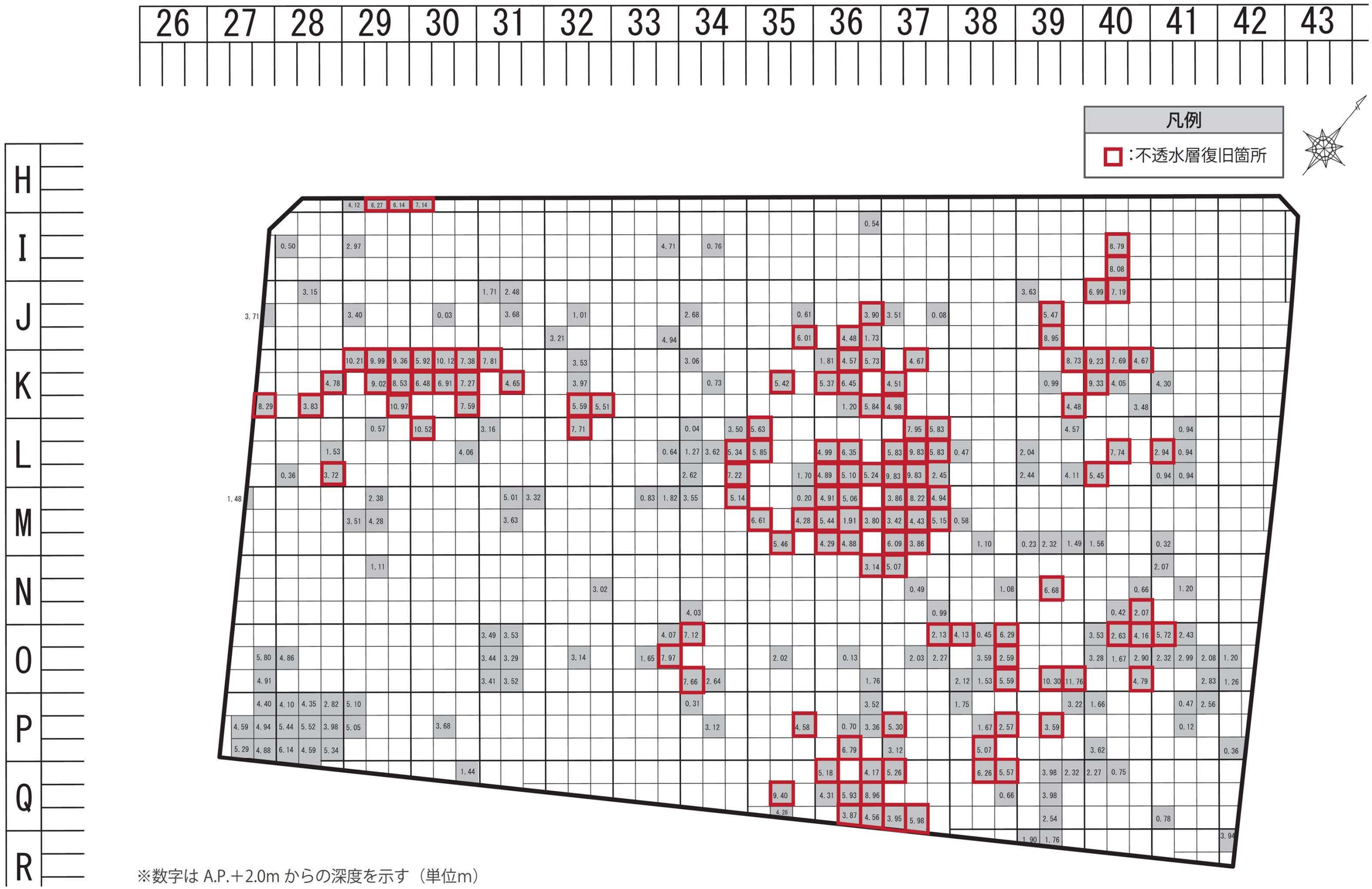
汚染土壌の対策深度の状況

●不透水層を掘削した箇所については、流動化処理土※1又はベントナイト混合土※2で不透水層を復旧



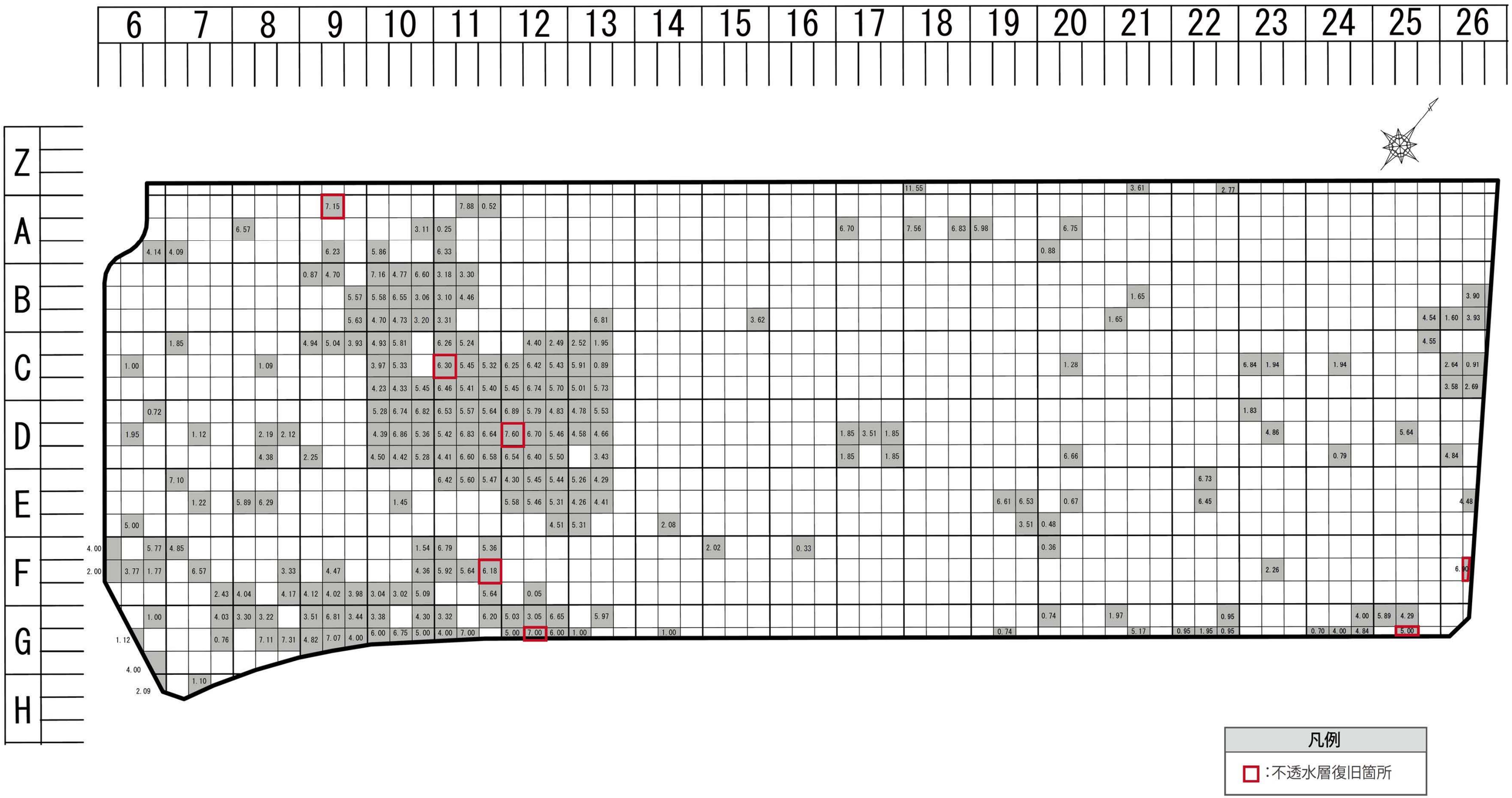
※１：流動化処理土とは、土砂・泥土に水と固化材を混練することにより流動化させた安定処理土（不透水層と同等の透水係数を有する）
※２：ベントナイト混合土とは、処理済み土にベントナイトを混合した土壌（不透水層と同等の透水係数を有する）

汚染土壌の対策深度の状況（５街区）



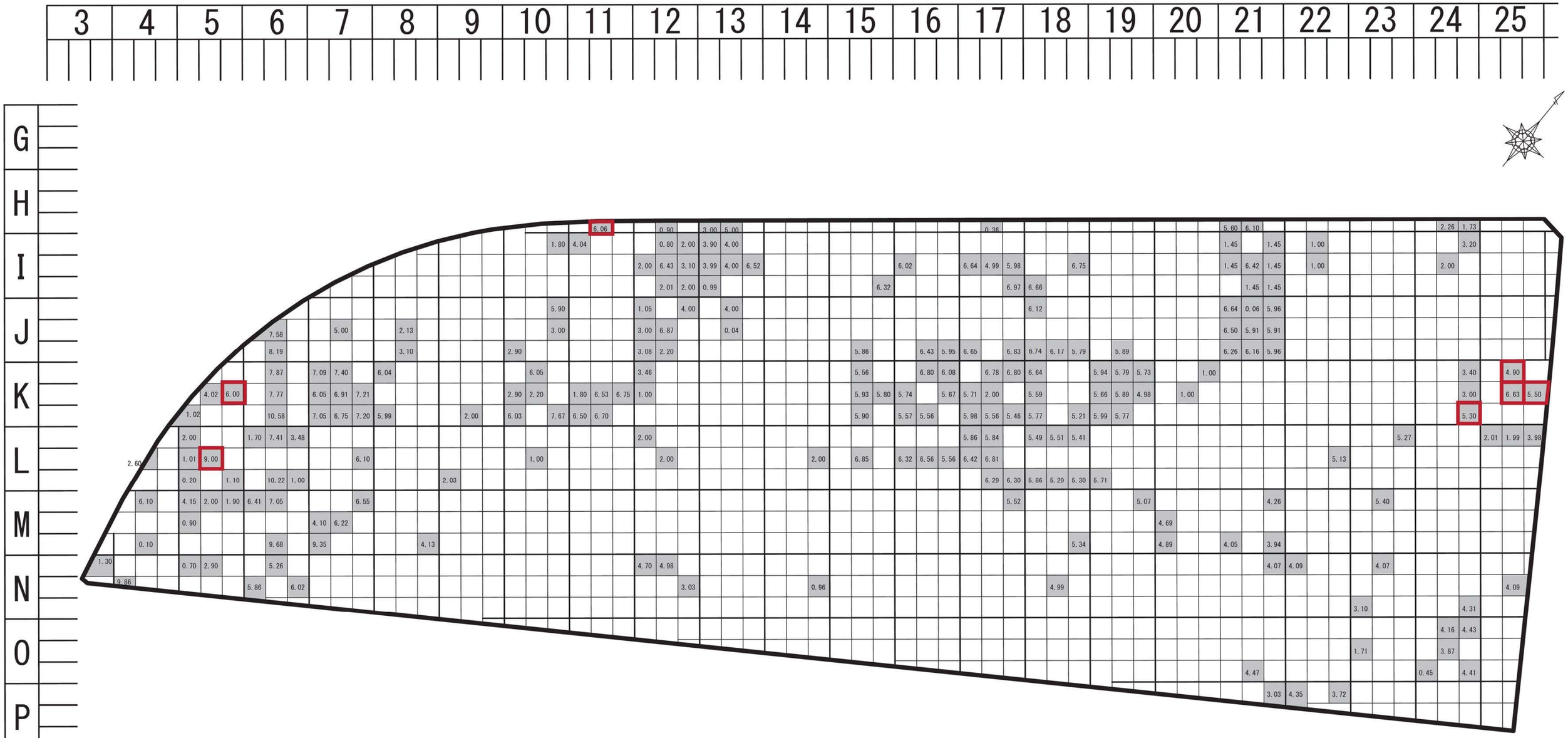
※数字は A.P.＋2.0m からの深度を示す（単位m）

汚染土壌の対策深度の状況（６街区）



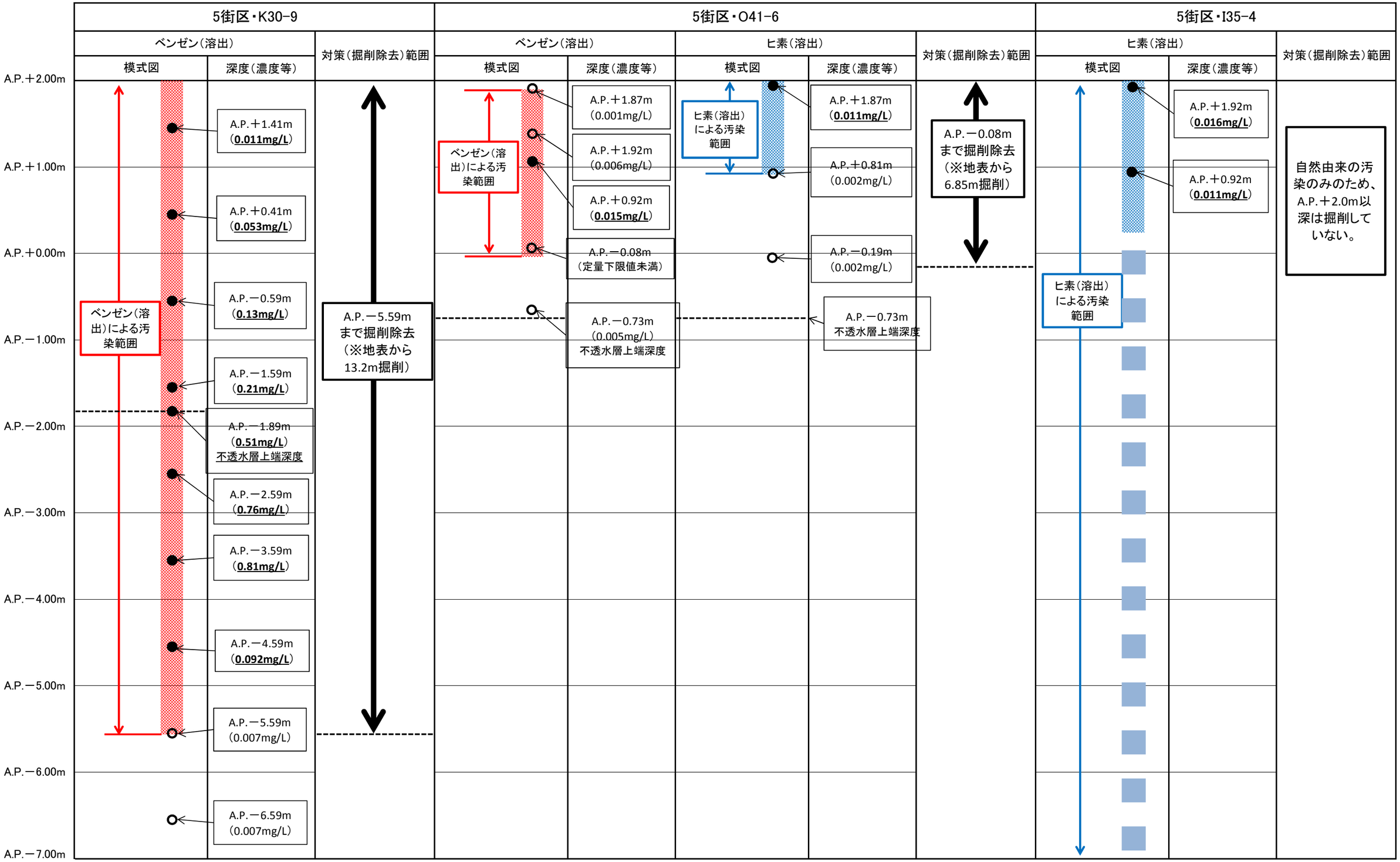
※数字は A.P.＋2.0m からの深度を示す（単位m）

汚染土壌の対策深度の状況（７街区）



凡例

□：不透水層復旧箇所

※数字は A.P.＋2.0m からの深度を示す（単位m）

〈土壌汚染調査および土壌汚染対策の例〉